「やさしさ」を抱きしめよう

第165号

まつの社協だより

令和5年1月発行

編集・発行
社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101
北宇和郡松野町大字松丸1661-13
ＴＥＬ（0895）42－0794
ＦＡＸ（0895）20－5311

新年の御挨拶

松野町社会福祉協議会
会長　中森　京司

新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
旧年中は本会の事業に対し、多大なるご支援ご協力を賜わり心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることに加え、原油高や為替変動、世界情勢等に起因する物価高騰が、わたしたちの生活にも大きな影響を及ぼしています。
そんな中でも、地域では文化祭等のイベントが徐々に再開されつつあります。地域の皆さんで企画準備し、ともに楽しんでおられる様子を目にすると、コロナ禍以前に当たり前のことのようにやっていたことが、やはり地域の絆づくりに欠かせないものだと改めて実感しています。
当協議会としましても、これまでどおり感染防止を徹底しながらも、リアルに皆様とお会いし、お話をし、様々なつながり・絆を深めていき、地域福祉活動がより充実したものになるよう役職員一丸となって取り組んでまいります。

町民の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とお力添えを賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様方のご健勝・ご多幸を心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

令和5年元旦

※門松：森の国クラブ松丸 製作

ケアマネだより ～私達と一緒に働きませんか？～

2023「ケアマネージャー」募集のお知らせ！

地域で暮らしておられる、要介護者の方々の在宅サービスの調整、ケアプランの作成、相談援助を行います。充実した福利厚生と研修制度で、未経験の方、育児や介護中の方も働きやすい職場です。

- ●募集期間　令和５年2月4日（金）必着　●選考試験日　令和5年2月19日（日）
- ●募集人員　正規職員（常勤、介護支援専門員1名）
- ●採用日　令和５年４月１日

※詳細は、ホームページをご覧になるか、お気軽にお問い合せください。
お問い合せ先　☎（0895）42-0794　松野町社会福祉協議会（担当：太場、影浦）

赤十字ぬくもり子育て広場

～ 虹の森まつの保育園 たまごホール　11/18（金） ～

２年ぶりに日赤愛媛県支部より講師をお招きし、開催することができました。
松山赤十字病院の助産師でもあるベビーダンスインストラクターの方に「だっこでステップ」をテーマにダンスを教わりました。楽しいステップに保護者の方からは思わず笑顔がこぼれ、ダンスの心地よい振動ですっかり眠ってしまっているお子さんもおられました。

ダンスのあとは、幼児安全法のミニ講習も行われ、保護者の方と日赤奉仕団で「気道異物の除去」の手技を学びました。

愛媛県老人クラブスポーツ大会

～ 愛媛県総合運動公園　11/2（水） ～

前年度と同じく新型コロナウイルス対策のため短縮されたものとなりましたが、県内各地から集まった会員同士交流を深めることができました。
少し汗ばむほどの陽気の中、会場内は興奮と熱気で大盛り上がり。松野町からは、松野連合（ゲートボール）、久留美会（クロッケー）が参加し、それぞれの種目で白熱した試合をくりひろげてきました。

LINEで つながろう～

スマートフォン教室、
開催しました！

地域住民の健康増進と交流などを目的に、町内10ヶ所で、毎月開催している「ふれあい いきいきサロン」。それぞれのサロンで興味ある活動をされています。

富岡地吉地区で活動しているあじさいサロンの皆さんから、「スマホでどんなことができるのか分からない」という相談を受け、ドコモショップきほく店の方を講師にお招きし、スマホ教室を行いました。

スマホの基本的な使い方やアプリのこと、困りごとや疑問点への対応、買い物をした時のスマホ決済の方法などを、実際にスマホを操作しながら教わりました。

教室終了時には、グループラインを作り、サロンの連絡網として活用されていました。

遠く離れた家族や友人など、対面でのコミュニケーションが難しい状況下、メールやライン、ビデオ通話などを介して、人とつながり、楽しみづくりになることを願っています。

中学校×地域活動

森の国クリーン超！作戦

松野中学校では、地域交流と地域貢献をめざす生徒会活動として、「まちおこプロジェクト」に取り組まれています。

その一環として「森の国クリーン超！作戦」を行いました。

町内10地区で、中学生と地域の皆さんが連携して、地域の清掃活動に取り組みました。

活動の前後には、自己紹介や意見交換を行い、みんなで心の交流をしながら、町をきれいにしました。

地域の方から「これからも色んな世代で、交流しながら一緒にできる活動がしたい」という感想がありました。

音楽でつながる

福祉のつどい

福祉のつどいは、子どもから大人まで地域の人たちが集まり、交流しながら、福祉を身近に感じてもらうため、社会福祉協議会が毎年開催しています。

今回は、福祉ボランティアグループと、地元高校生のまちづくり団体”私たち立＃マツノイズム高校”の皆さんと協働で行いました。

会場には、子どもから大人までが楽しめる射的やビーズアクセサリー作りコーナーに加えて、ペットボトルや紙皿など身近なものを使った楽器作りの工作コーナー、高校生が講師となって「まご」が教えるスマホ教室が並び、スタッフや来場者同士が世代をこえて交流を深めていました。

また、マリンバ奏者、後藤麻紀さん・石津亜紀さんのマリンバデュオ・リベルタによる、マリンバコンサートも行いました。

木のぬくもりのある優しいマリンバの音色につつまれながら、癒しのひとときをすごしました。

コンサートの中では、工作コーナーで手づくりした楽器を使って、来場者も演奏に参加。一緒に音楽を作りあげながら、会場が一体となりました。

来場者から、「子どもから大人まで集まって交流できてよかった」という感想をいただきました。